



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
 コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 大谷 郁夫
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 075-682-1028

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	132,144	2.9	11,888	29.3	11,594	33.0	7,345	58.4
23年3月期第3四半期	128,373	3.1	9,195	52.0	8,717	57.9	4,637	23.2

(注) 四半期包括利益 24年3月期第3四半期 4,711百万円 (154.4%) 23年3月期第3四半期 1,852百万円 (△70.7%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	52.15	52.09
23年3月期第3四半期	32.83	32.80

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	217,034	170,750	168,846	77.8	1,198.79
23年3月期	215,345	168,867	166,967	77.5	1,185.44

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	20.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,000	3.2	9,500	123.3	9,200	146.1	5,400	106.5	38.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	143,378,085 株	23年3月期	143,378,085 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,530,932 株	23年3月期	2,529,607 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	140,849,304 株	23年3月期3Q	141,241,625 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後実際の業績は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。これらのリスクや不確実性、その他の要因には以下のものが含まれます。

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
- ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
- ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
- ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
- ・SPA(製造小売)事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
- ・カタログ及びインターネット販売の強化による売上増加が達成できないリスク
- ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
- ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
- ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
- ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
- ・海外事業に関連して増加するリスク
- ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
- ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク
- ・知的財産権に関連するリスク
- ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
- ・内部統制に関連するリスク
- ・有価証券に関連するリスク
- ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク
- ・東日本大震災が直接又は間接に与えるリスク

これらの詳細については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(6) セグメント情報	P. 10
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11
(8) 販売の状況	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①当第3四半期の業績概況

当社グループでは3カ年中期経営計画の2年目に入り、主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、国内事業の構造改革による収益力向上と中国を中心とする海外事業の積極的な展開による成長力強化に取り組みました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、主にワコールやピーチ・ジョン、中国事業において売上が伸長したことなどにより、全体の売上高は前年同期を上回りました。営業利益は、ワコールにおける売上利益の増加や、国内子会社の収益性が改善したことなどにより、前年同期を上回りました。

●売上高	1, 321億44百万円	(前年同期比	2.9%増)
●営業利益	118億88百万円	(前年同期比	29.3%増)
●税引前四半期純利益	115億94百万円	(前年同期比	33.0%増)
●当社株主に帰属する四半期純利益	73億45百万円	(前年同期比	58.4%増)

②オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業 (国内)

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、ワコール人間科学研究所の研究成果「からだのエイジング (加齢による体型変化)」に基づいた商品展開やプロモーションが、引き続き消費者に効果的に訴求できたことで、主力アイテムであるブラジャーやボトム商品が順調に推移しました。一方、肌着については一部商品が好調に推移したものの、他社商品や天候不順の影響もあり前年を下回りました。これらの結果、ブラジャーやボトム商品が牽引したことにより、ワコールブランド事業本部全体の売上は前年同期を上回りました。

ウイングブランド事業本部につきましては、ワコールブランド同様、ブラジャーやボトム商品が堅調に推移しましたが、肌着は天候不順に加え、量販店などのプライベートブランド商品や他社商品の影響を大きく受けたことで苦戦しました。メンズインナーはスタイルサイエンス商品が低調に推移したこともあり、前年同期を下回りました。これらの結果、店頭での売上は好調だったものの、得意先の在庫調整に伴い納品が進まない影響もあり、ウイングブランド事業本部全体の売上は前年同期並みとなりました。

小売事業本部につきましては、主に直営店「AMPHI (アンフィ)」において、ブランド認知度向上に伴い既存店が好調に推移したことや新規出店により、売上を伸ばしました。また、アウトレットモールで展開する「ワコールファクトリースタア」は、一部で震災による店舗の被害があったものの、品揃えの改善が奏功し、全体としては好調に推移しました。これらの結果、小売事業本部全体の売上は前年同期を上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X (シーダブリューエックス)」ブランドのスポーツ用タイツや、機能性を重視したビジネスパンプスは堅調に推移しましたが、震災でテレビ通販の売上が減少したことなどが影響し、全体の売上は前年同期を下回りました。

通信販売事業部につきましては、カタログ販売が苦戦したものの、インターネット販売が伸長し、全体の売上は前年同期を上回りました。

このように、主力事業であるワコールブランドが順調に推移したことや小売事業が拡大したことなどにより、株式会社ワコール全体の売上は前年同期を上回りました。また、利益面につきましては、売上の増加に加え、損金の圧縮や販管費比率の改善により、営業利益は前年同期を上回りました。

●売上高	901億39百万円	(前年同期比	3.2%増)
●営業利益	93億4百万円	(前年同期比	17.7%増)

b. ワコール事業 (海外)

海外事業 (2011年1~9月) につきましては、米国事業は個人消費の伸びが低下傾向にある中、主力販売チャネルである百貨店でのシェア向上と商品展開の強化、さらに周辺国やインターネット販売での売上拡大に積極的に取り組みました。売上面では為替変動の影響を受けたものの、値頃感のあるブラジャーや補整機能のあるボトム商品が牽引したことや、インターネット販売が計画を上回る伸びとなったことで、前年同期を上回りました。また、利益面では売上の増加に加え、原価低減に伴う売上利益率の改善によって、営業利益は前年同期を上回りました。なお、当期における米ドルの為替換算レートは80円 (前年同期89円) となっております。

中国事業につきましては、個人消費の伸びはやや鈍化傾向にあるものの堅調に推移しており、前期に引き続き商品力の強化と内陸部を中心とした店舗展開に取り組みました。売上については、政府の不当表示規制に関する行政指導の影響により主力販売チャネルである百貨店への入店客数が急激に落ち込んだことに加え、他社商品との差別化や販促活動が不十分だったこともあり、前年同期は上回ったものの伸びは鈍化しました。利益面では、売上の減少に伴い経費の見直しを図りましたが、出店拡大による販管費増加の影響もあり、営業損失が生じました。

●売上高	163億92百万円	(前年同期比	6.8%増)
●営業利益	18億18百万円	(前年同期比	21.7%増)

c. ピーチ・ジョン事業

株式会社ピーチ・ジョン (2011年3~11月) につきましては、通信販売は震災により春号下着カタログが受注停止の影響を受けましたが、販売スケジュール変更に伴うカタログ発行時期の見直しが奏功し、主力の秋・冬号カタログがいずれも好調に推移しました。国内直営店は震災の影響に加え、前年に比べて店舗数が減少したものの、キャンペーン効果や品揃えの改善が図れたことで既存店が好調に推移し、売上は前年同期を上回りました。海外直営店は中国で展開している7店舗はやや苦戦しましたが、香港に出店している2店舗は好調に推移しました。これらの結果、ピーチ・ジョン事業全体の売上は、前年同期を上回りました。

利益面では、中国事業展開に伴う費用の増加や毎期計上している名簿償却費用の影響があるものの、売上の回復に加え、前期に実施した事業所統廃合による人件費や固定費の削減、売上原価率の低減などにより国内事業の収益改善が着実に進み、ピーチ・ジョン事業全体では黒字となりました。

●売上高	101億17百万円	(前年同期比	10.4%増)
●営業利益	6億48百万円	(前年同期は営業損失5億41百万円)	

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、主力のインナーウェアを展開するインナー事業部は、大手得意先との共同開発商品の展開が拡大したことなどにより、好調に推移しました。一方、アウターウェアを展開するアパレル事業部は、不採算商品の縮小などの影響もあり、前年を下回りました。これらの結果、ルシアン全体の売上は前年同期並みとなりましたが、利益面については事業ベースでの収益改善は進んだものの、厚生年金基金脱退に伴う損失を計上したことにより、営業損失が生じました。

マネキンの製造販売やレンタル、商業施設の設計や施工を行う株式会社七彩につきましては、物販が好調に推移しましたが、前期の百貨店の売場改装工事が一巡したことに加えて、震災による取引先の投資抑制やイベント中止の影響で短期のマネキンレンタルが苦戦し、売上は前年同期を下回りました。利益面では、経費削減など効率化を図りましたが、売上の減少に伴い営業損失が生じました。

●売上高	154億96百万円	(前年同期比	6.2%減)
●営業利益	1億18百万円	(前年同期比	64.9%減)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、株主資本等の状況

当第 3 四半期連結会計期間末における総資産は、有価証券の増加や売掛債権の増加などにより、前連結会計年度末に比して 16 億 89 百万円増加し、2,170 億 34 百万円となりました。

負債の部は、未払金の減少、冬季賞与の支払いによる未払賞与の減少や繰延税金負債の減少などにより、前連結会計年度末に比して 1 億 94 百万円減少し、462 億 84 百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比して 18 億 79 百万円増加し、1,688 億 46 百万円となりました。

以上の結果により、当第 3 四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して 0.3% 増加し、77.8% となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して 37 億 49 百万円増加し、307 億 30 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益 74 億 40 百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、105 億 51 百万円の収入（前年同期に比し 6 億 78 百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還収入などがあったものの、有価証券や有形固定資産の取得などにより、44 億 76 百万円の支出（前年同期に比し 26 億 47 百万円の支出増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、18 億 46 百万円の支出（前年同期に比し 17 億 64 百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想数値につきましては、平成 23 年 10 月 31 日発表時の業績予想からの変更はありません。

当社グループをとりまく事業環境は、震災直後に比べて足元の消費動向には改善の動きが見られるものの、欧州債務危機による海外経済の懸念に加え、長期化する円高や株安の影響など、景気は依然として下振れリスクを抱えた厳しい状況にあります。このような経営環境の中、当社グループでは真に価値のある商品を継続的に展開することで売上規模を拡大していく考えです。

株式会社ワコールにつきましては、引き続き構造改革による国内事業の収益構造の改善を図るとともに、ワコール人間科学研究所の研究成果「からだのエイジング」をキーワードにした商品展開を推進し、主力アイテムのブラジャーをはじめ、回復基調に転じたボトム商品の活性化に繋げていきます。また、今後も成長が期待できる小売事業やウエルネス事業などについても積極的な拡大を図っていきます。さらに、当社グループ全体の総合力を発揮した得意先との協業などを推進することにより、国内下着市場でのシェア拡大を狙います。

海外事業に関しては、米国事業は為替の影響が懸念されますが、高品質・高付加価値商品の展開をさらに強化しつつ、販売地域やチャネルの拡充にも取り組んでいきます。中国事業は環境変化に的確に対応し、認知度を上げるための広告販促活動やコンサルティング販売および商品力の強化を図り、中高級品市場での売上拡大と収益性の改善を図ります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度の 連結貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年12月31日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	26,981	30,730	3,749
定期預金	698	325	△ 373
有価証券	4,819	6,431	1,612
売掛債権	20,871	21,818	947
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 1,549	△ 2,086	△ 537
たな卸資産	30,956	31,221	265
繰延税金資産	5,134	3,634	△ 1,500
その他の流動資産	2,586	3,310	724
流動資産計	90,496	95,383	4,887
II. 有形固定資産			
土地	21,774	21,766	△ 8
建物及び構築物	60,322	60,354	32
機械装置及び工具器具備品等	14,023	13,850	△ 173
建設仮勘定	93	251	158
	96,212	96,221	9
減価償却累計額	△ 46,467	△ 47,141	△ 674
有形固定資産計	49,745	49,080	△ 665
III. その他の資産			
関連会社投資	14,702	13,807	△ 895
投資	32,672	31,449	△ 1,223
のれん	10,367	10,367	—
その他の無形固定資産	10,325	9,614	△ 711
前払年金費用	158	1,013	855
繰延税金資産	879	650	△ 229
その他	6,001	5,671	△ 330
その他の資産計	75,104	72,571	△ 2,533
資産合計	215,345	217,034	1,689

科 目	前連結会計年度の 連結貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年12月31日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	6,117	6,657	540
買掛債務			
支払手形	1,623	1,815	192
買掛金	10,507	9,831	△ 676
未払金	5,700	4,558	△ 1,142
	<u>17,830</u>	<u>16,204</u>	<u>△ 1,626</u>
未払給料及び賞与	6,201	4,710	△ 1,491
未払税金	1,870	2,641	771
その他の流動負債	2,405	5,359	2,954
流動負債計	34,423	35,571	1,148
II. 固定負債			
退職給付引当金	2,200	2,147	△ 53
繰延税金負債	7,441	6,466	△ 975
その他の固定負債	2,414	2,100	△ 314
固定負債計	12,055	10,713	△ 1,342
負債計	46,478	46,284	△ 194
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,401	29,438	37
III. 利益剰余金	136,946	141,474	4,528
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	△ 10,344	△ 12,599	△ 2,255
未実現有価証券評価益	2,596	1,939	△ 657
年金債務調整勘定	△ 2,002	△ 1,775	227
V. 自己株式	△ 2,890	△ 2,891	△ 1
株主資本計	166,967	168,846	1,879
VI. 非支配持分	1,900	1,904	4
資本計	168,867	170,750	1,883
負債及び資本合計	215,345	217,034	1,689

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	128,373	100.0	132,144	100.0	3,771
II. 営業費用					
売上原価	62,035	48.3	61,855	46.8	△ 180
販売費及び一般管理費	57,302	44.6	58,340	44.2	1,038
有形固定資産除売却損益(純額)	△ 159	△ 0.1	61	0.0	220
営業費用計	119,178	92.8	120,256	91.0	1,078
営業利益	9,195	7.2	11,888	9.0	2,693
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	89		77		△ 12
支払利息	△ 73		△ 73		0
受取配当金	623		702		79
有価証券・投資有価証券売却損益及び交換益	15		43		28
有価証券・投資有価証券評価損	△ 1,085		△ 916		169
その他の損益(純額)	△ 47		△ 127		△ 80
その他の収益・費用計	△ 478	△ 0.4	△ 294	△ 0.2	184
税引前四半期純利益	8,717	6.8	11,594	8.8	2,877
法人税等	4,751	3.7	5,157	3.9	406
持分法による投資損益及び非支配持分帰属損益調整前四半期純利益	3,966	3.1	6,437	4.9	2,471
持分法による投資損益	771	0.6	1,003	0.8	232
四半期純利益	4,737	3.7	7,440	5.7	2,703
非支配持分帰属損益	△ 100	△ 0.1	△ 95	△ 0.1	5
当社株主に帰属する四半期純利益	4,637	3.6	7,345	5.6	2,708

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	4,737		7,440		2,703
II. その他の包括損益					
－税効果調整後					
為替換算調整勘定	△ 2,356		△ 2,294		62
未実現有価証券評価損益	△ 782		△ 662		120
年金債務調整勘定	253		227		△ 26
その他の包括損益 合計	△ 2,885		△ 2,729		156
四半期包括損益	1,852		4,711		2,859
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 38		△ 51		△ 13
当社株主に帰属する四半期包括損益	1,814		4,660		2,846

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 平成22年 4月 1日 至 平成22年12月31日)	(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	4,737	7,440
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	3,554	3,481
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金	414	559
(3)繰延税金	617	1,192
(4)固定資産除売却損益	△ 159	61
(5)有価証券・投資有価証券売却損益及び交換益	△ 15	△ 43
(6)有価証券・投資有価証券評価損	1,085	916
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△ 355	△ 442
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の増加	△ 975	△ 1,105
たな卸資産の減少(△増加)	844	△ 636
その他の流動資産等の増加	△ 515	△ 751
買掛債務の減少	△ 120	△ 1,429
退職給付引当金の減少	△ 163	△ 518
その他の負債等の増加	633	1,501
(9)その他	291	325
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,873	10,551
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 1,194	△ 625
2. 定期預金の減少額	831	998
3. 有価証券の売却及び償還収入	2,495	2,800
4. 有価証券の取得	△ 1,425	△ 4,922
5. 有形固定資産の売却収入	540	223
6. 有形固定資産の取得	△ 1,985	△ 1,980
7. 無形固定資産の取得	△ 525	△ 482
8. 投資の売却収入	98	95
9. 投資の取得	△ 548	△ 601
10. その他	△ 116	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,829	△ 4,476
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	△ 480	569
2. 長期債務による調達	200	500
3. 長期債務の返済	△ 69	△ 50
4. 自己株式の増減	△ 367	△ 1
5. 当社株主への配当金支払額	△ 2,824	△ 2,817
6. 非支配持分への配当金支払額	△ 70	△ 47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,610	△ 1,846
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 721	△ 480
V. 現金及び現金同等物の増減額	3,713	3,749
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	24,317	26,981
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	28,030	30,730

補足情報

現金支払額		
利息	73	69
法人税等	3,651	3,604
現金支出を伴わない投資活動		
株式交換による投資有価証券の取得額	—	126

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

① オペレーティング・セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	87,344	15,349	9,161	16,519	128,373	—	128,373
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,654	4,549	47	3,278	9,528	△ 9,528	—
計	88,998	19,898	9,208	19,797	137,901	△ 9,528	128,373
営業利益（△損失）	7,906	1,494	△ 541	336	9,195	—	9,195

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	90,139	16,392	10,117	15,496	132,144	—	132,144
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,245	4,574	147	4,182	11,148	△ 11,148	—
計	92,384	20,966	10,264	19,678	143,292	△ 11,148	132,144
営業利益	9,304	1,818	648	118	11,888	—	11,888

(注) 各事業の主な製品

ワコール事業（国内）	・・・ インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、レックニット他
ワコール事業（海外）	・・・ インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、レックニット他
ピーチ・ジョン事業	・・・ インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、その他繊維関連商品他
その他	・・・ インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、その他繊維関連商品、マキシン人形、店舗設計・施工他

② 地域別情報

前第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	112,622	6,813	8,938	128,373
構成比	87.7%	5.3%	7.0%	100.0%
営業利益	7,239	768	1,188	9,195

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	115,154	7,701	9,289	132,144
構成比	87.2%	5.8%	7.0%	100.0%
営業利益	10,140	507	1,241	11,888

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア: 東アジア及び東南アジア諸国
 欧米: 北米及びヨーロッパ諸国
3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(8) 販売の状況

製品の種類		前第3四半期連結累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション・ランジェリー	91,311	71.1	95,785	72.5	4,474	4.9
	ナイトウェア	6,902	5.4	7,398	5.6	496	7.2
	リトルインナー	1,261	1.0	1,297	1.0	36	2.9
	計	99,474	77.5	104,480	79.1	5,006	5.0
アウターウェア・スポーツウェア等		13,539	10.6	12,992	9.8	△ 547	△ 4.0
レッグニット		1,413	1.1	1,338	1.0	△ 75	△ 5.3
その他繊維製品及び関連製品		5,708	4.4	6,165	4.7	457	8.0
その他		8,239	6.4	7,169	5.4	△ 1,070	△ 13.0
合計		128,373	100.0	132,144	100.0	3,771	2.9